

## 領域開拓プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

- ◆課題:「人文学・社会科学における方法論の検討および新たな創出の試み」
- ◆研究テーマ:「対話型アーカイブズによる新たな「島嶼の知」の創出に基づく島嶼地域科学の体系化」

研究期間:R2.10~R5.3  
委託費総額:14,547千円

### <研究代表者>

波多野想:琉球大学島嶼地域科学研究所/教授



#### <専門分野>

文化遺産学・建築史学

#### <Webページ>

<https://riis.skr.u-ryukyu.ac.jp>

### <研究目的・概要>

- ・日本は、大小6,800以上の島々からなる島国である
- ・島々がそれぞれに優れた資源や特質を持続的に活かしながら自律的発展を遂げ、そのことをもって国際社会に対して貢献するという課題が存在

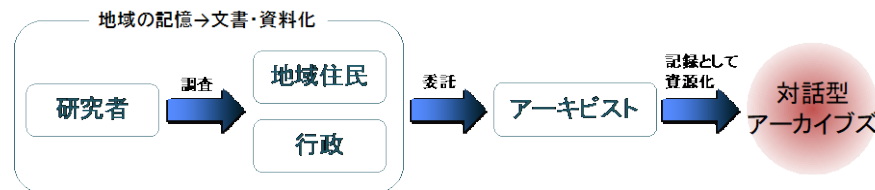
島々が地域課題を自律的に解決し持続的に発展するための学術的方法論を創出することを旨す。

- ・島嶼の知(生活知、経験知、専門知等)を総体化、さらに混交を促すための対話型アーカイブズを構築
- ・沖縄・宮古島において、専門家と非専門家が協働して、方法論の確立を行う

研究者の専門知と島の住人の知(経験知、生活知)を混交し、地域課題の解決に利活用可能な資源として再編成するための方法論を構築

### <研究計画の特徴>

- ・学術的専門性の有無によって選別されない多様な知の混交や混成を、意識的に創発する仕組みを構築
- ・対話型アーカイブズを通して、知の混交促進
- ・数理分析の成果に基づく、知のあり方の解明



### <目標とする研究成果>

#### (1) 島嶼が抱える課題解決に資する方法論

- ・「島嶼の知」の創出
- ・研究者、地域住民、行政による協働実践
- ・データサイエンティストによる数理分析

#### (2) 対話型アーカイブズの構築

- ・研究者の専門知と地域住民や行政がもつ地域知を混交するためのプラットフォーム
- ・島嶼課題の解決に資するモデルの構築

### <将来展望>

島嶼地域の新たな位置づけや役割の解明  
世界の島嶼が抱える地域課題の解決に対する貢献  
島嶼地域全体の安定と安全に対する貢献